

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	1	0	・利用定員を遵守している。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	2	3	0	・外部講習会、内部研修で職員も勉強している。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの配置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	3	1	・借りてる場所でなかなか難しいが、できる範囲でバリアフリー化している。 ・普段は4階までエレベーターを使用し、非常時に使う階段には手すりがついている。また活動する4階フロアにほぼ段差はない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	2	3	0	・職員との1対1面談を通して職員の専門性の向上と業務改善を進めている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	・2023年度もアンケートを実施。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	2	0	・ホームページで公開
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3	0	・第三者評価は行っていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	・内部研修を継続して行ってきた。 ・外部研修には研修補助制度があり、職員が外部研修を受講する機会を確保している。
適切な 支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	・面談を通して保護者のニーズを把握し、フォーマルアセスメント、インフォーマルアセスメントを通して子どもの理解を継続して深めている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	・太田ステージを活用してアセスメントを行っている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	・毎日活動プログラムをチーム全体で確認している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	・毎日来所する子どもたちに合わせて活動プログラムを立案しているので固定化することはあり得ない。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	1	0	・状況に応じて活動プログラムを組み立てている。

	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	・子どもの個別の状況に合わせて個別支援計画を作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	・毎日ミーティングを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	・毎日振り返りをし、全員で共有している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	・毎日の個別指導の記録を取っている。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	2	0	・定期的に個別支援計画を見直ししている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	3	0	・ガイドラインも参考に活動プログラムを立案してる。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2	0	・児童発達支援管理責任者と担当者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	3	0	・学校との連携会議を通して情報共有を行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	2	1	・医療的ケア児を受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	3	0	・保護者との面談を通して、就学前の状況を把握している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	3	0	・保護者からのニーズに合わせて卒業後に連携を取るケースがある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	0	・教育センターと常に顔の見える関係が構築できている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	2	2	・育成室との交流はおこなっていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	1	0	・2023年度から文京区障害者地域自立支援協議会の子ども支援専門部会の座長となり、積極的に参画している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0	・連絡帳だけでなくLINE等を活用し保護者との情報共有を行っている。

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	0	・保護者に対するペアレント・トレーニングは行っていない。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1	0	・利用前に保護者に説明を行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0	・面談だけでなく、送迎時やLINEなどを活用していつでも相談できる体制を整えている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	0	・年に1回保護者会を行った。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	3	0	・すでに苦情受付体制が整備されている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	・月1回の「つばさ通信」より保護者との情報共有を行っている。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	・個人情報の取り扱いについては書面で確認している。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	・個別の障害特性に応じたコミュニケーション支援を行っている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	2	1	・利用者だけでなく、地域の人も巻き込んだクリスマスコンサートを実施した。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1	0	・各種マニュアルを整備し、周知していく予定。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	・年に2回防災訓練を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0	・年に2回、虐待防止研修を行っている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	・身体拘束や虐待と指導の関係性について保護者にも確認を取っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4	1	0	・食物アレルギーについて医師の指示書は取っていないが、保護者と確認を取っている。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	1	・毎日の振り返りでヒヤリハットを聴取し、記録している。